

令和6年度 第30回 大学院セミナー

令和6年7月17日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	ゲノム機能解析学 分野 責任者名(木住野達也) 内線(7190)
演題 Title	ゲノム編集による遺伝子改変マウスの作製支援
講師等 Presenter	先端ゲノム研究センター・木住野達也
概要 Abstract	<p>遺伝子改変マウスは、医学・生命科学研究において必須の実験動物ですが、その作製にはこれまで長い期間(数ヶ月から数年)が必要でした。特にゲノム改変を行うためには、ES細胞を用いた相同遺伝子組換えや、相同組換えES細胞を胚盤胞に導入して作製するキメラマウスの作製が必要でした。しかし、近年 CRISPR/CAS システムに代表されるゲノム編集技術が開発されたことで、マウスの遺伝子改変は受精卵での改変が可能になり、短期間(数週間)で遺伝子改変マウスの作製が可能となりました。</p> <p>先端ゲノム研究センターでは、2016年より学内の遺伝子改変マウス作製受託を開始し、2024年までの約8年で100例を超える受託を行ってきています。今回のセミナーでは</p> <ol style="list-style-type: none">1) 遺伝子改変マウス作製支援業務の詳細2) 当施設における遺伝子改変マウス作製の実績3) ゲノム編集技術を用いた遺伝子改変マウスの作製の実際4) 学内に提出が必要な申請書の記載方法と譲受方法 <p>をご説明します。</p> <p>ゲノム編集による遺伝子改変マウスの作製、使用をお考えの大学院生、教員の方は是非ご参加ください。</p> <p>下記日時でご都合の悪い方は、いつでもご相談にのりますので、ご連絡ください(grc@ml.nagasaki-u.ac.jp)。</p>
開催日時 Date and Time	令和6年7月26日(金) 17:00 ~ 18:00
開催方法 Online/Face to face	先端ゲノム研究センター 2階 セミナー室
備考 Notes	参加希望の方は、必ず事前に当センター受付 (grc@ml.nagasaki-u.ac.jp) までメールでご連絡ください。(参加人数が多数の場合は開催場所を変更します。)

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)